

# 女性のための投資フォーラム IR for Women 2016

～あなたがひとときわ輝くために～



## SEED

「見える」をサポートします

出展ブース



7743

## シード



代表取締役社長 浦壁昌広氏

### セミナー内容

#### 世界に広がる“日本のシード”～企業の歩みと成長戦略

1951年にコンタクトレンズの研究を開始して以来、国産ならではの品質ときめ細やかなモノづくりで、国内外の多様化するニーズに対応。近年では、新たなマーケット構築のため、海外市場への展開にも注力している。

#### コンタクトレンズ製造量日本一、さらなるシェア拡大を目指す

コンタクトレンズ事業が売上の9割を占め、1日使い捨てコンタクト、2週間交換コンタクトから、ハードコンタクトまで、幅広い商品を展開。2009年に国産初の1日使い捨てコンタクトを発売して以来、市場の拡大とともに着実に出荷額を増やし、2016年3月期連結売上高は2009年3月期の2倍に成長した。国内コンタクトレンズ市場はシェアの約6割を海外メーカーが占める輸入超過状態の中、主力商品である1日使い捨てタイプで国内シェアは約12%、コンタクトレンズ市場全体では約9%。2018年3月期には、全体のシェアで10%以上の獲得を目標としている。

#### 一貫した国内生産で、Made In Nipponの高品質の商品を生む

今後のシェア拡大に向け、1日使い捨て製品のバリエーションを増やすために、主力生産施設である鴻巣研究所内に工場を1棟新設。2017年12月からの稼働で月産4,000万枚の生産が可能となり、日本最大の製造能力を有する。国際的な製造認証「ISO13485」取得と、EUで販売する製品に適用される「CEマーク指令適合」で国際的な製造品質管理水準を維持。日本企業同士のアライアンスによる補完体制を構築し、東レと業務協力。素材開発から一貫した国内生産の強みを活かし、Made In Nipponの高品質の商品を提供していく。

#### 世界のコンタクトレンズ市場1兆円へ向けて、海外で販路を拡大

海外売上高は、2011年の進出以来、売上高の5%までに成長。需用が増えるアジアでは、中国・上海に子会社を設立し、全省に商品供給。ベトナムでは、ハノイ、ホーチミンの眼科病院でのコンタクトレンズルームの設立に協力し、140店舗で販売。シンガポール、マレーシア、台湾にも現地法人を置き、フィリピン、インドネシアでは現地企業との代理店契約も進行中。また、欧州では北欧4カ国、イギリス、ドイツ、イタリアに続き、ポルトガルでも発売開始予定。今後は中近東、東ヨーロッパ、フランス、スペインなどにも順次拡大していく。

#### 増収増益、安定したキャッシュフロー、中期経営計画も上方修正

2017年3月期第1四半期は遠近・乱視用の販売数増加で、売上高56億77百万円(前期比16.9%増)、営業利益3億09百万円(同255.5%増)と大幅な増収増益を達成。上半期も堅調に推移し、今後下半期では遠近・乱視用のスペック拡充、サークルレンズのバージョンアップ等に取り組むことで、連続増収増益を予定。また、生産力増強の設備投資を行う中、販売数の伸長で安定したキャッシュフローも継続している。現中期計画の最終目標である2018年3月期の売上高を250億円に上方修正し、目標達成に向け、1日使い捨てへの経営資源投下や、医薬分野との融合や医療センシング技術との融合で、先進国マーケットに向けコンタクトレンズのカテゴリーを越えた商品提供にも注力する。